



日本福祉大学

2018年度 第15回 福祉用具アイデアコンテスト



自由課題 優秀賞

「防災カードゲーム」

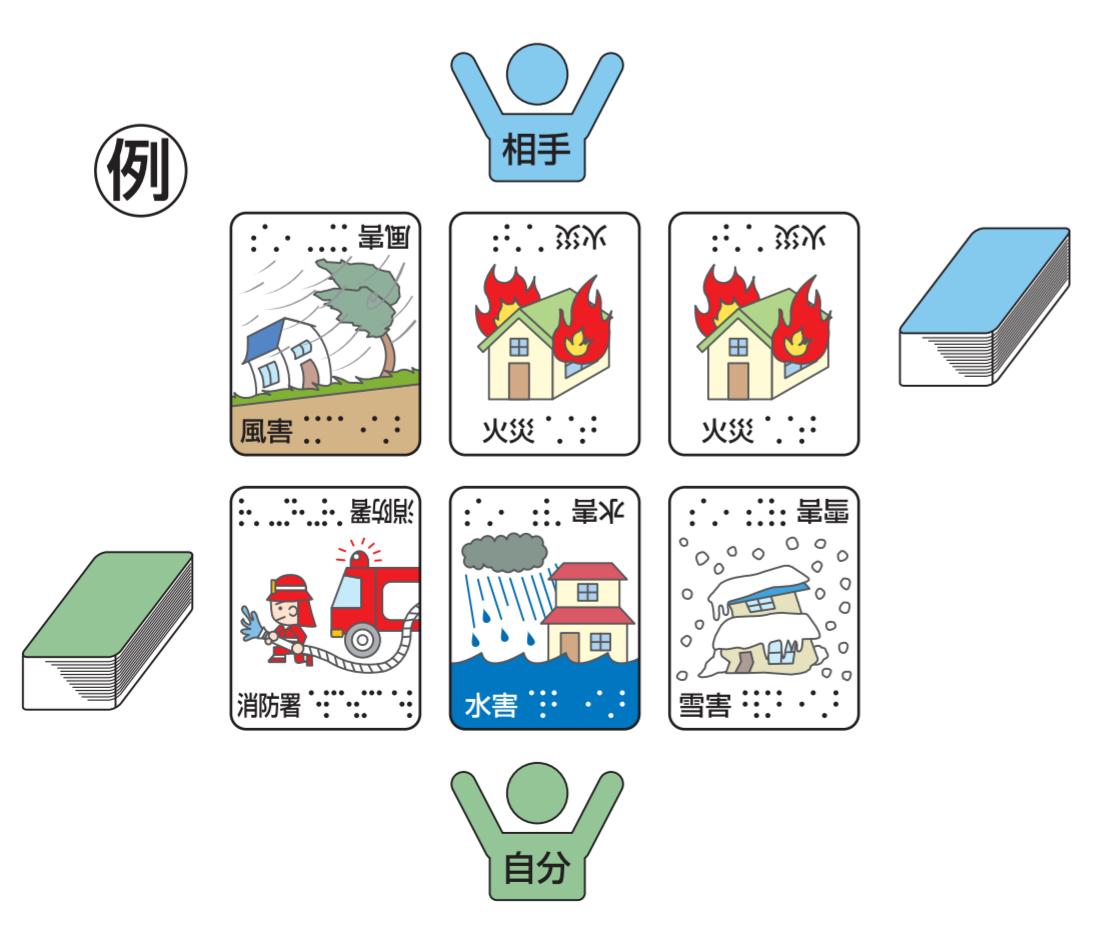
赤田 雅斗さん（兵庫県立神戸商業高等学校3年）

親と子と一緒に考え話し合いながらゲームで遊ぶことで、災害の危険や防災の大切さを学ぶことができます。

カードには点字・イラスト・文字を用いているため視覚障害のある人も聴覚障害や色覚障害のある人も遊べます。

ゲームルール 【二人用】

- ①カードの束から3枚取り、裏返しのままカードの束の右側に並べる。
- ②じゃんけんで先攻後攻を決める。
- ③裏返しのカードをめくり、表にする。
- ④・6枚のカードから組み合わせシートを見ながら災害の組み合わせを探す。
 - ・毎回作れる組み合わせは1つ
 - ・災害を作る時に必ず防災カードを使わなければならない。選択した防災カードはどうしてそのカードを使うのか相手が納得できる説明をする。
 - ・6枚のカードの中に組み合わせるカードがなかったらお互いカードを束に戻してシャッフルする。
- ⑤組み合わせを作る時、お互いのカードを必ず最低1枚ずつ使う。
- ⑥左の図の例より3枚手に入る。



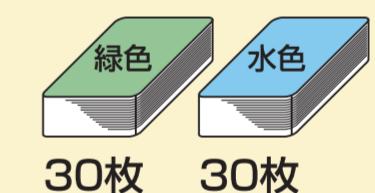
●文字と点字が上下に表示されていてどちらからでも見やすい



防災カード



●カードの束はそれぞれ30枚



組み合わせで取った3枚のスペースに相手のターンに移る前にカードの束からお互い自分のスペースに補充する。

- ⑦どちらかのカードの束がなくなったらゲーム終了。最終的に1番多くカードを持っていた方が勝利なので組み合わせの数が多いほど有利。

